

令和2年10月30日

新型コロナウイルス感染症クラスター（6事例目）について （第17報）

三重県内で発生した6事例目のクラスターについて、本クラスターにかかる健康観察が終了しましたので、状況を報告します。

1 県内6事例目のクラスターの概要

令和2年9月、鈴鹿市内の三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿厚生病院で発生したクラスターで、三重県内では6事例目となります。

入院患者から陽性者が複数判明していることから、病院内で感染が広がった可能性が考えられます。

2 調査状況

この病院に勤務する職員2名（387例目、388例目）の陽性が9月2日に確認され、病院内で調査を進めていたところ、うち1名が感染可能期間（発症2日前）に病棟勤務歴があったこと、および、当該病棟にて発熱者が多数確認されたことから、この病棟に関連する職員や入院患者の調査を行うとともに、この病棟と直接関連しない職員や入院患者についても発熱等の症状があれば検査を行う方針とし、幅広く調査を進めてきました。

その結果、本クラスターでは、病院職員等15名、入院患者55名の計70名について陽性が確認されました。

当該施設におけるクラスターでは、陽性70名、陰性136名となりました。

現在の施設に係る感染者の状況は下表のとおりです。

	対象者数	検査済数	陽性数	陰性数
病院職員等	99	99	15	84
入院患者	107	107	55	52
合計	206	206	70	136

※上記は人数であり、検査を行い陽性となった際は陽性数に計上しています。

3 今後について

本クラスターについては、上記のとおり全ての検査対象者の検査および健康観察が終了しました。

また、接触者調査についても終了いたしました。

※報道機関の皆様へ

本患者様およびその他ご関係者様の人権の尊重および個人情報保護、勤務先等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。